

Costume and Textile

No.29

服飾文化学会会報

2015年3月

2015（平成27）年度 第16回服飾文化学会大会のお知らせ

会員の皆様にお送りしましたお知らせのように、2015（平成27）年度 第16回大会・総会を下記のとおり開催いたします。多くの皆様ご参加下さいますようご案内申し上げます。

記

開催日 2015年5月16日（土）・17日（日）

開催校 大妻女子大学 千代田キャンパス
〒102-8357東京都千代田区三番町12

【研究発表】【展示】本館

【見学】大妻女子大学博物館

1. プログラム

5月16日（土）

13：30～15：20 研究発表

15：30～17：00 特別講演

演題 「想像と創造—きもの/ジャポニスム
/ファッション」

講師 深井晃子氏（服飾史家・キュレーター）

17：10～17：40 総会

17：50～19：30 懇親会（学内食堂）

5月17日（日）

9：30～12：00 研究発表

作品・ポスター展示スピーチ

12：10～13：30 昼食および博物館見学

（13：00より解説）

13：40～14：40 作品・ポスター展示の説明・質疑（展示会場にて）

※作品・ポスター展示時間

5/16 13：30 ～ 5/17 14：40

※作品・ポスター展示ショートスピーチを研究発表会場で行います。詳細は送付します。

2. 参加費

大会参加費	会員	3,000円
	非会員	4,000円
	学生会員	1,000円
	学生非会員	1,500円
懇親会費	会員	4,000円
	非会員	4,500円
	学生会員	2,000円
	学生非会員	2,500円
昼食代（5/17）		1,000円

3. 発表・参加申込

（1）発表申込締め切り日 2015年4月1日（水）

①既にお送りした「発表者へのお知らせ」（2種）に沿って、第16回大会・総会実行委員長大網美代子までEメールにてお申し込み下さい。（必着）

②発表形式には、口頭発表・ポスター展示・作品展示の3種があります。

③発表は未発表の研究報告で、発表者は共同発表者とも本会会員に限られていますので、非会員の発表希望者は学会ホームページから入会手続きをお願い致します。

（2）要旨原稿締め切り日 2015年4月30日（木）

（提出先：miyoko.oami@otsuma.ac.jp）

①用紙：A4縦置き、横書、1枚

②余白：上25mm、下30mm、左右30mm

③文字：10.5ポイント、明朝体

(3) 参加申込・払込締め切り日

2015 年 4 月 30 日 (木)

ゆうちょ銀行 振込口座 00100-4-450452

加入者名：大網 美代子 (オオアミ ミヨコ)

4. 特別講演について

◆講師 深井晃子氏

想像と創造—きもの / ジャポニズム / ファッション

◆講演内容

19 世紀半ば、欧米に広がった日本の影響は、ジャポニズムとして広く知られています。この時、日本に向けられた熱い視線、言い換えればその異質な美への憧憬は、様々なレベルで欧米の想像を掻き立て、啓示を与え、新たな創造のエネルギーへと転換していきました。その動きを引きだしたのは、大量に流出した各種の日本品でした。この関係性についての調査研究は実り多い成果を挙げています。その中の一つ、きものが与えた影響もまた見逃せません。本講演では、既に明らかにしたジャポニズムを軸にしたきものと 19 世紀末～20 世紀初めのファッションとの関係を踏まえ、19 世紀後期欧米の絵画に現れたきものの意味と役割、また、近年のファッションにおける新たな展開について考察します。

◆講師のプロフィール

服飾史家

お茶の水女子大学大学院修士課程修了、パリ第 4 大学大学院で美術史を学ぶ。

キュレーターとして「モードのジャポニズム」(1994) 他の展覧会を企画監修。最近では日本ファッションの 30 年を再読する「Future Beauty」展が 2010 - 15 年世界各地を巡回し高い評価を得る。京都服飾文化研究財団理事。元静岡文化芸術大学教授。主な受賞、1999 年度ジャポニズム学会特別賞、2008 年度文化庁長官表彰等。

主な著書『ジャポニズム イン ファッション』(1994 平凡社)、『ファッションの世紀 共振する 20 世紀のファッションとアート』(2005 平凡

社)、『ファッションから名画を読む』(2009 PHP 研究所) 等。

5. 自由見学

◆特別展「侯爵 鍋島家の服飾遺品の復元」

鹿鳴館時代は日本における西洋服導入の黎明期です。展示品は本学名誉教授石井とめ子氏らが服飾遺品調査を行い、修復・研究のために復元したものです。この復元は文献資料と照合し、その様相を解明した他に類を見ない貴重な史料です。また、大正末から昭和初期にかけて着用された「大礼服用トレーンの修復」などを展示します。

【開館時間】5 月 16、17 日 10:00～16:00 (入館は 15:30 迄) 開館時間中、自由にご見学下さい。

6. アクセス

① J R 総武線「市ヶ谷」または「飯田橋」徒歩 10 分

② 地下鉄半蔵門線「半蔵門」「九段下」徒歩 10 分

③ 地下鉄南北線「市ヶ谷」徒歩 10 分

7. 連絡先

服飾文化学会 第 16 回大会・総会実行委員会

〒102-8357 東京都千代田区三番町 12

大妻女子大学 千代田キャンパス

ファッション造形学研究室

Tel&Fax 03-5275-6029 大網美代子

(miyoko.oami@otsuma.ac.jp)

2015 年度総会のお知らせ

第 16 回大会において、総会を開催いたします。本学会の発展のために、多数の会員の総会への参加をお願いいたします。

正会員の方は、5 月 10 日までに、出欠を記載した返信はがきを事務局へ返送してください。

日時：2015 年 5 月 16 日 (土) 17:10～17:40

会場：大妻女子大学千代田校舎

議事 (予定)；

- ・平成 26 年度事業報告、決算報告、監査報告
- ・平成 27 年度事業計画案審議、予算案審議

特集記事 展覧会 「ファッション史の愉しみ ―石山彰ブック・コレクションより―」

能澤 慧子（東京家政大学）

我国唯一のファッションに特化した公的博物館である神戸ファッション美術館にて、2014年10月18日から15年1月6日まで、「ファッション史の愉しみ ―石山彰ブック・コレクションより―」と題した展覧会が開催されました。2011年7月に逝去された服飾文化学会初代会長石山彰先生が、約70年の歳月をかけて蒐集された膨大な数の服飾史に関する研究書、ファッション・プレート、錦絵と、神戸ファッション美術館所蔵の歴史衣装を合わせた約500点の資料が展示されました。時代ごとの図像、文字資料、そして実物資料を対峙させて提示した展覧会として、恐らくわが国最初の試みといえましょう。

展示は次の6つの場面で構成されました。

1. ファッション史の始まり ―16、17、18世紀の文献とファッション・プレート―
2. ファッション・ブックの黎明期 ―革命期から1820年代まで―
3. ファッション・ブックの全盛期 ―1830年代から19世紀末まで―
4. ファッション史研究の確立 ―19世紀ファッション史・民族服文献―
5. ポショワールのファッション・ブックと挿絵本
6. 洋装化日本のファッション・プレート ―揚州周延の錦絵―

1. では1581年出版のジャン=ジャック・ボワサールの描いた『諸国民の服装』、1776年出版の『18世紀フランスの慣習と流行の歴史に資するための版画集』（通称『モードの記念碑』）など、ファッション史のごく初期の出版物も含まれ、6. では大礼服やバスル・ドレス、あるいは束髪の説明などを描いた稀少な錦絵が紹介されました。

生前、石山彰先生は、服飾史は過去のファッション・デザインの総カタログであり、創造の源泉であること、そして移り変わるファッションの中に、人は何故着るのかという問いに対する答え、を見出すことこそ重要であると、折に触れて語られました。またファッション・プレートに関して、「私たちが身近に共感し魅了されるのも、一つにはこの世俗性や反孤高性にあるのであり」^{注)}と述べられました。こうした、いわゆる美術作品にはない、ファッション・プレート特有の表現の魅力を発見、再発見し、「ファッション（服飾）史」の幾重もの意義や愉しみを感じ取られた方も多かったことでしょう。

この展覧会は、約5,000人の入場者を迎えました。2016年（2月13日－4月10日）には東京都の世田谷美術館に巡回します。

注：石山彰編・解説『西洋服飾版画』文化出版局 1974



ポスター



会場風景

2014（平成26）年度 論文発表会の報告

本年度の論文発表会は、春の暖かさを感じる2015年3月4日（水）14時より文化学園大学C061番教室にて開催された。参加者は97名で盛会となった。卒業論文は6件、修士論文は1件で計7件の口頭発表、そのうち1件は実物製作を伴う発表であった。

<プログラム>

開会の辞 会長 能澤 慧子（東京家政大学）

卒業論文

座長：大塚 有里（東京家政大学）

1. 日本と韓国における女子大生のファッションに対する意識の比較から考察される両国の文化
清宮 理沙（和洋女子大学）

座長：福田 博美（文化学園大学）

2. 重ね着にみる日本のファッションの独自性
関口真奈美（実践女子大学）

座長：鈴木 桜子（杉野服飾大学）

3. ウィリアム・モリスにおけるテキスタイルデザインからのデザイン発想—実物製作—
五十嵐 早紀（文化学園大学）

4. Melancholic Fantasy—憂鬱世界の創造—

輪嶋 香苗子（文化学園大学）

座長：須藤 良子（女子美術大学美術館）

5. 山下りん研究—日本人初の女流アイコン画家—

栞原 美穂（杉野服飾大学）

座長：内村 理奈（跡見学園女子大学）

6. 着せ替えあそび～女の子の憧れと変身願望～

堀田 莉名（文化学園大学）

修士論文

座長：高野倉睦子（神戸女子大学）

7. ネオ・ジャポニズムを通してみる現代ジャパン・ファッションの評価に関する研究

石井 理恵（東京家政大学 大学院）

閉会の辞 副会長 岡田 宣世（女子美術大学）

韓国留学を機に、日本と韓国における女子大生のファッションに対する意識をアンケート調査から比較した清宮論文は、両国の文化の差異や共通点を見出し、相互理解の一端を解明した。

関口論文は、日本の重ね着のファッション化に着目した。高田賢三・金子功以降、若者に広まる



会場風景 実物製作を伴う発表

重ね着の流れを捉え、森ガールをはじめSNSによるグローバル化を背景とする進展を検証した。

ウィリアム・モリスにおけるテキスタイルデザインからのデザイン発想による実物製作を行った五十嵐論文は、モリスの作品を色・柄・模様配置別に調査し、植物のデザインソースとしての曲線、柄の2層化、橙色の特色をまとめた。官能検査では手仕事感に評価を捉えた。「春の花々」をコンセプトとした作品は、発表後に休憩時間を挟んで、多くの方々にご覧いただき、好評を得た。

輪嶋論文は「Melancholic Fantasy—憂鬱世界の創造—」と題して、筆者が創造するどこか不気味で怪しくファンタジックで心躍る世界観を写真撮影・編集・加工して製本にした。登場キャラクターMani・Noiを通して幻想世界が具現化された。栗原論文は日本初の女流イコン画家である山下りん(1857-1939)に着目した。イコンとは聖像画をさし、伝統的な平面的表現に対し、西洋画を好んだ山下りんの作品は立体的で色彩豊かである。彼女の生涯と画業を辿り、独自性を考察した。

堀田論文は、最近のおしゃれな小学生がファッションに興味を持ち始める時期の低年齢化の傾向に、『アイカツ!』をはじめアーケードゲームやテレビアニメにおける着せ替えあそびの普及やそれらのアパレル展開が関係している点を指摘した。



懇親会にて能澤慧子会長のご挨拶

石井論文は、ネオ・ジャポニスムについて、川久保玲の国際的評価を通して、欧米による現代ジャパン・ファッションの価値評価を明らかにした。多岐に亘る川久保への評価は、日本という枠を超えて作品の本質的な評価へと変化した、と結論づけた。

開会にあたり、会長の能澤慧子先生から「論文を仕上げた後、学外での発表のために、学生と指導教授が努力し、洗練された論文の発表の場として論文発表会がある。」とのお話を賜った。

チャレンジ精神旺盛な発表に、活発な質疑応答や講評が行われた。

閉会の辞で、副会長の岡田宣世先生は「ブラッシュアップが実感できる発表会であった。」と述べられ、今後の課題が提示された。

懇親会は12階の学生ホールにて、論文発表会担当の内村理奈理事の司会で始まり、能澤会長のご挨拶、元副会長の蔵方宏昌先生の乾杯のもと、発表者と教員、多くの学生との楽しい交流の機会となった。

(論文発表会担当 福田博美)

◆◆◆2015年度夏期セミナーのお知らせ◆◆◆

日 時：8月4日(火) - 8月6日(木)

行き先：兵庫県南あわじ市、徳島県徳島市・板野郡・美馬市・鳴門市

見学先：淡路人形座、長尾織布合名会社、藍の館、佐藤阿波藍製造所、脇町、宇田津の町並み、渦の道、大塚国際美術館他

定 員：25名

昨年はセミナー期間の前後に大型台風が高知・徳島に直撃の予報が出たため、中止としました。今年の企画は昨年とほぼ同様です。

詳細は大会の際にお知らせします。申し込み受け付けは大会後になります。奮ってご参加ください。

2014（平成26）年度 研究例会の報告

「大学人のための知的財産権の基礎知識」

一般社団法人 発明推進協会

知的財産アドバイザー

黒瀬昭博

日時：平成26年11月8日（土）13：30～15：00

会場：共立女子大学 本館2階204号室

はじめに

大学人にとって知的財産権は日常の教育・研究・社会連携活動の中で重要な事柄です。ここでは特許・意匠・商標・著作権・利益相反を取り上げて説明します。この中で特許・意匠・商標は特許庁の審査を経て登録される権利であり、著作権は審査がなく作品の完成とともに権利が発生します。また利益相反に対する認識は、社会連携活動である産官学連携を進める上で重要となります。

特許

特許法では、発明の保護及び利用を図ることに より発明を奨励し、もつて産業の発達に寄与することを目的とする、と謳われており、発明を生み出すことは我々の社会生活を向上させるための知的な活動です。

優れたアイデアは発明として特許出願をすることができます。出願された発明は特許庁で審査されその結果、新規性と進歩性が認められれば特許権として登録されます。特許権の有効期間は出願日から最長で20年間です。

新規性とは、世界初のアイデアであることを言い、審査では日本のみならず世界の公知資料を見て類似のアイデアがすでに知られていないか調査します。進歩性とは、従来の技術に比較してどの程度優れているかを判断します。出願では発明のすべてを特許明細書で隠さずに開示する必要があります。もし開示を拒めば権利にはなりません。

なお出願後、特許権の取得に向かって前進する場合には、出願日から3年以内に審査請求を行う必要があります、これを逃すと出願は取り下げられたものと見做されます。

異なる者から同じ発明がそれぞれ生まれた場合

は、一日でも早く特許庁に出願した者のみが審査を受けることができ、これを先願主義といいます。だから優れた発明が生まれたら躊躇することなくすぐに出願すべきです。世界中で類似の研究が行われており、日の争いはけっして珍しいことではありません。このため学会発表の準備に時間を要して特許出願が後手に回ると思わぬ損失を被ることにもなりかねません。

外国で特許を取得したい場合は、法律が各国ごとに独立しているので、取得したい国ごとにそれぞれ特許出願を行います。これは意匠権、商標権も同様です。2013年の全世界の特許出願件数は、260万件であり、1位の中国73万件、2位の米国50万件に続いて、日本は3位47万件です。

意匠

意匠権は、物品（部分を含む）の形状、模様若しくは色彩又はこれらの結合であって視覚を通じて美感を起こさせるものを保護の対象とします。

審査では新規性と非創作容易性等の観点から登録の可否を判断し、登録日から最長20年間の有効期間があります。特許のように審査請求を行う必要がなく出願の全件が審査されます。

意匠権の対象物は工業上利用することができるものでなければならず、量産可能なものである必要があります。一品だけの美術品は著作権で保護されます。特に商品の外観は他人に容易に真似されやすいので、意匠権で保護することが大切です。

商標

商品やサービスに付ける「マーク」や「ネーミング」を財産として守るのが「商標権」です。商標には、文字、図形、記号、立体的形状やこれらを組み合わせたものなどのタイプがあります。

商標には「出所表示機能・品質保証機能・広告宣伝機能」があり、大学名や紋章なども商標権を得ることができます。

商標の審査では、「外観類似・呼称類似・観念類似」の観点から類似性を判断して登録の可否を判断します。

商標はいわゆる“のれん”であり、消滅しては

困るので、商標権は10年ごとの更新が半永久的に可能です。

著作権

人の知的活動によって思想やアイデアあるいは感情が生まれ、その結果、文芸、美術等の作品が生み出されます。思想または感情を創作的に表現した作品を「著作物」といい、その創作者を「著作者」といい、これらは著作権法で守られます。著作権は美術品などの一品物をその対象とし、大量生産品を対象とする意匠権と役割が異なります。

著作権は、「言語・音楽・舞踏又は無言劇・美術・建築・地図や図形・映画・写真・プログラム」が対象となり、これらには、「複製権・上演権・演奏権・上映権・公衆送信権・公の伝達権・口述権・展示権・頒布権・譲渡権・貸与権・翻訳権・翻案権・二次的著作物の利用に関する権利」が存在します。

この中で特に大学が注意しなければならないのは複製権です。著作権法では授業は著作権法の例外として位置付けられており、授業の教材等は著作権の有無にかかわらず使用が可能です。また試験問題はその特殊性から許諾なしで使用が可能です。しかし授業や試験を離れると例外とはなりません。新聞や書籍、雑誌をコピーして会議等で配布することは認められず、掲示も許されません。図書館の書籍等のコピーは一人一部に制限され、最大でも書籍一冊の半分が限度です。また当日の新聞や最新号の雑誌は次号が発行されるまでコピーはできません。コピーをした結果、本等が売れなくなる不利益に配慮しています。

近年、電子化が進化したのに伴い他人の作品や表現を安易に複製できるようになり、インターネット上のコピー問題が俎上に上っています。

論文の作成にあたっては、引用やコピー等の法的な課題にご留意ください。他人の著作物を引用する際には、「引用する著作物が公表されている。引用文を明確に区分し特定できる。自己の文が主で引用文が従である。公正な慣行に合致している。研究等の引用の目的に照らして引用が正当な範囲内である。引用文を改変しない。出所を明示する。」という条件を満足させることが重要です。

またコピーは、他人が苦勞して作成した「思想または感情を創作的に表現した文章」を無断で利用していないかが判断基準となります。他人の書いた書物から学ぶことは重要ですが、論文の作成にあたってはその他の人の文章に引きずられることのないようご配慮ください。一方、事務的な文章は創作的ではないので、例えば「第1図の右下の円内の○○を・・・」等の文章は真似しても法的な問題は起こりにくいと考えます。

さらに着想（コンセプト）はアイデアであって表現ではないので、著作権の対象にはなりません。ただし優れたアイデアは特許の対象となり、特許権となり得ますのでご注意ください。

利益相反

大学の教職員が産学官連携活動を推進するとき、ややもすると利益相反という課題に直面する場合があります。産学官連携活動を積極的に行うことは正しいことです。しかし企業に有償で技術指導を行ったり、教職員自身がベンチャー企業を立ち上げるなどして、大学の本業以外の業務が多忙になって休講が生じたり会議を欠席することには問題があります。このように学外から得る経済的利益と、大学における教育・研究上の責任とが相入れなくなる状態を利益相反と呼びます。



黒瀬昭博氏



講演風景

利益相反に絶対的な基準はありません。特定の企業から正当な利益を得たり、必要な範囲で責務を負うことは妥当です。つまり大切なのは個々人の行動が社会的にどう映るかが問題なのであって、社会に対する説明責任や透明性が強く求められます。双方の正しいバランスと両立、常識の枠を逸脱しない行動基準、自己規制が肝要です。

個々人の高い見識と倫理感によって、発生するかもしれない問題を未然に防止することが利益相反問題の最大の解決策です。

最後に

優れたアイデアは知的財産権で適切に権利化を図って保護し、他人に真似されないよう努力すると共に、一方、他人の知的財産権を尊重する精神が重要です。知的財産権のモラルはその国の文化的レベルに比例します。知的財産権は社会連携活動のシーズであり大学の成果を社会に役立てる手段として十分ご活用ください。

***** 会員より *****

■受賞の報告

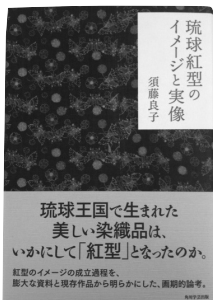
受賞名：沖縄研究奨励賞

(公益財団法人沖縄協会主催)

受賞者：須藤良子氏 (女子美術大学美術館)

著 書：『琉球紅型のイメージと実像』須藤良子、
角川学芸出版 2014.4

賞の概要：奨励賞は、沖縄を対象とした優れた研究を行っている50歳以下（応募の年の7月15日現在）の新進研究者（又はグループ）を授賞対象としたもの。須藤良子氏は、明治時代に形作られた琉球紅型のイメージを検証し、琉球王国時代の真の紅型の実像を示された。



須藤良子氏の著書
「琉球紅型のイメージと実像」

■近著紹介

★『華麗なるナポレオン軍の軍服 絵で見る上衣・軍帽・馬具・配色』

リュシアン・ルスロ著、辻元よしふみ・辻元玲子訳
マール社 2014年10月

★『19世紀の銅版画家 ポーケのファッション画 集 フランスと異国の貴族・民衆の服装』

H. & P. ポーケ原著、ルフェブル・パケ・ジュリアン訳 徳井淑子監修 マール社 2014年11月

***** 事務局より *****

●会員異動（敬称略、申込み順）

☆新入会員（2014年9月～2015年1月）

正会員

管 野 絢 子（文化学園大学）

学生会員

上 野 邦 子（文化学園大学大学院）

☆退会者

五十嵐 かつ代（平成26年度末）

岩 崎 雅 美（平成26年度末）

佐々井 啓（平成26年度末）

西 浦 麻美子（平成26年度末）

永 島 朋 子（平成26年度末）

●会費納入のお願い

平成27年度分会費納入をお願いいたします。郵便振替口座00150-7-184189 服飾文化学会（会費額：正会員6000円、学生会員3000円）

なお、事務局と財務担当理事の入金確認作業が1年を通して続くことの無いように、4月末日までにお振込みをお済ませくださいますよう、切にお願いいたします。

会報 No.29：2015(平成27)年3月30日発行

編集発行人：服飾文化学会

事務局：173-8602 東京都板橋区加賀1-18-1

東京家政大学服飾史研究室

TEL：03-3961-8273

E-mail：nohzawa@tokyo-kasei.ac.jp

URL：http://www.fukusyoku-bunka-gakkai.jp